

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2890500115		
法人名	株式会社愛ホームサービス		
事業所名	グループホーム愛		
所在地	神戸市兵庫区下沢通8-2-20		
自己評価作成日	令和2年20日	評価結果市町村受理日	令和2年7月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフクラブ兵庫福祉調査センター		
所在地	尼崎市南武庫之荘2丁目27-19		
訪問調査日	令和2年6月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

出来る限り在宅での生活と同じように過ごして頂けるように心掛けています。例えば、食事作りや、片付け、洗濯物干し等の家事活動、買い物や散歩、外食、行事等での外出支援、花や野菜を育てたり、歌を歌ったりといった、趣味的な活動の支援をしています。又、看護師による体調管理と毎月2回の訪問診療による医師の診察、薬剤師との連携による服薬支援等、医療的なサポートもしっかり行っている。職員は入居者一人一人と向き合うことを大事にして、日々の生活を入居者と一緒に過ごせるように心掛け、入居者主体に過ごして頂けるように気を付けて、ケアを行っている。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

この法人は、神戸市魚崎のGHを傘下に加え、在宅介護ニードに応え、更に現事業所に併設の住宅型有料老人ホームを廃止転用して現在1ユニットのGHを2ユニットに増設の方向としている。コロナへの対応も的確にでき入居利用者、職員ともコロナ後への対応の段階に進んでいる。この間の取り組みを評価したい。また、サービスの評価における自己評価においてもコロナ下における外出機会の縮小等利用者支援の低下を反省する面を示しつつ、職員体制も管理者の指導助言や研修も機能しており、利用者ケアはさらに推進が期待できる。地域社会との交流を広げる等、更に一步を期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中での普通の生活の継続を理念に、職員間で協力し合い、ケアに力を入れている。	事業所の性格を踏まえ在宅介護の充実を目指し、地域密着の取組みを進めている。事業所の枠を超えての職員間の連携もできつつある。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居者が地域のスーパーに出掛けたり、散歩に出掛けたり、あるいは外食に出掛けるなど、地域に足を運ぶ機会を作っている。	地域の自治会に加入しており、地域のごみ処理場の清掃等に参加している。介護フェア等、施設と共に進める関係づくりの検討の余地がありそうである。	今後、事業拡大の計画もあり、地域とともに歩む関係づくりを積極的に構築していただくことを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今後、同一建物内にてグループホームの増床を計画しており、ここでの支援方法を伝えていく方法を模索している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、出席者からの意見を参考にしたり、出席した利用者の声を大事にしている。	隔月開催され、入居者・家族・GH等地域の関係者が参加。会議録を作成して家族に配布している。同メンバーで「身体拘束委員会」も開催しており、職員には業務日誌や会議報告の形で、会議内容を周知している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にあんしんすこやかセンター職員に出席頂いている。又、3ヶ月に1度開催される、兵庫区のGH連絡会にも区内のあんしんすこやかセンター職員に出席頂き、意見交換している。	区内10カ所のGHが集まり持回当番制の連絡会を開催している。管理者が出席し内容の伝達をしている。地域包括支援センターとの連携、必要時、市民生局との連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年2回の身体拘束についての研修にて、具体的な行為や身体拘束をすることによる弊害について学ぶと共に、廃止に向けてや、身体拘束せずに行うケアについても考えるようにしている。	事業所建物の一階は、デイサービスで常時施錠。年2回の内部研修で、身体拘束せざるを得ない場合の必要な書類整備について学んでいる。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関する研修では、その知識を学ぶと共に、職員同士での討論も大事にしている。	研修や職員ミーティングにおいて虐待防止を進めている。職務環境等と職員による虐待についての関連にも留意している。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている入居者がおり、成年後見人との接触の機会を持っている。	成年後見人に弁護士が鳴り月2回面談に来所する例がある。職員は基本的な対応について学んでいる。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居面談、契約の締結時に説明を行うとともに、あらかじめ、疑問点について訊くように心掛けている。	契約時、内容変更時には説明をしている。事業所としての対応可否も理解していただくよう丁寧に行っている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々のケアの中で利用者の声を聞くことを大事にしている。また、エレベーターホールに「ご意見箱」を設置し、家族等からもご意見を聞き出せる体制をとっている。	日常のケアの中で、利用者の意見や声を聞き、家族の意見は来訪時に聞くこととしている。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、運営会議を開催し、現状の報告や提案を代表者に行い、よりよい運営に反映させている。	職員意見は、各現場管理者が把握聴取し、社長を含む月1回の運営会議で報告している。懇親会に社長も参加するので、意見交換の機会にもなっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は昇給や臨時手当等、職員の頑張りに対しての評価を心掛けたり、職員間の懇親の場の設定を勧める等、より良い職場となるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員の力量に合わせて各種の研修を受講出来るように支援している。又、内部研修にその研修内容に応じて外部講師を呼ぶなどの支援も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は兵庫区内のGH連絡会に参加し、交流・意見交換を行っている。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の困っていることや要望について把握し、ケアに繋がられるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いや不安について聞かせて頂き、共感的態度で接するように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人内の他サービスの利用も視野に入れながら、対応を考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの方の出来ることはして頂けるように支援し、入居者と職員と一緒に過ごすことで生活が成り立っている。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を共に支える立場として、職員と家族で情報を共有しつつ、本人の生活の支援に取り組むように心掛けている。		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会も継続して頂いている。又、家族との馴染みの場所への外出も支援している。	馴染みの人や場は、利用者・家族から聞いて把握し、関係が保てるような支援をしている。コロナウイルス対策時は、自宅や馴染みの公園にドライブに出かけ喜ばれた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の横の関係を大事にし、例えば、どちらかの居室で一緒に談笑して過ごされるような場面も尊重している。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談があれば、対応を検討している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活において、本人にしたいことや思いを聞き、それをケアに生かすことを大事にしている。	職員がゆとりをもって、傾聴できるよう仕事内容も工夫し、本人の思いや好きなこと大事なことを把握し、ケアに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族にこれまでの生活について聞き、それらをここでの生活に生かすようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの方の生活の仕方や個性・能力を見極め、それらを職員間で共有している。		
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に、毎月のカンファレンスや、紙面によるモニタリングチェックにより、介護職員の意見を集約し、よりよい介護計画の作成に役立っている。	毎月のケースカンファレンスにおいて利用者・家族の意見・要望、主治医・看護師等の助言を参考として、3か月毎のケア計画に反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケア記録やモニタリングチェックにて介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内の他事業所職員との連携もあり、出来る限りその方のニーズに対応出来るように検討している。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の中で支援に必要なものは活用できるように心掛けている。		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の協力も得ながら、本人・家族の納得した形で医療を受けられるように支援している。	利用者全員の主治医が、協力医療機関医師である。月に2回の往診と配置された看護師による対応で、本人・家族の満足度も高い。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の様子から気になったことを看護師に相談し、看護師からの助言を主治医に伝えることで、適切な受診を受けられるように心掛けている。		
32	(15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、SWや看護師との連携を大事にし、早期に退院できるように努めている。	協力医の助言により入院先を定める。情報提供と連携を密にしている。双方向の安心を図っている。	
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医からの説明や本人・家族の思いを大事にし、こことして出来ること・出来ないことを説明し、本人への支援について一緒に考えるようにしている。	発足以来、ホーム内で、2名の方の看取り介護を行っている。直近は、最年長101歳の方を、老衰で看取った。加算の適用も受けた。もう一例はガン末期の方であった。協力医の協力は得られた。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	普通救命講習未受講者には受講して頂き、万が一の場合に備えている。		
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今後のグループホーム増床も踏まえ、これまで以上に地域との連携の強化を図るよう心掛けているところである。	年2回の防火避難訓練を実施している。夜間想定訓練や地域住民の参加は、できていない。	今後の事業拡大をふまえ、消防署の指導で、地域との協力体制を築き非常時の見守り等の可能性をぜひ検討いただきたい。

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修において、一人ひとりを尊重することについて話し合っている。	職員は「利用者一人ひとりの人格を尊重し誇りを傷つけないケア」を意識して日々の支援に努めている。先輩の指導が効果的な面もある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活上の決定事項について、利用者から希望を出してもらえるように訊くようにし、反応を待つように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を出来るだけ少なくし、利用者と一緒に過ごす時間を多く取れるように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	それぞれの方の個性を大事にしている。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週2～3回、食事作りやおやつ作りを行い、食事に至る過程と一緒に楽しめるように心掛けている。	利用者参加の食事やおやつ作りを行っている。献立等は、利用者の好みや希望をもとに立てている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれの方の好みを把握し、それぞれに合った食事や水分の確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その方の能力に応じて口腔ケアの支援を心掛けている。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	それぞれの方の排泄パターンに応じて適切に対応し、排泄の自立に向けて取り組んでいる。	ほぼ自立の方が多いが、居室内にトイレ設置のため、排便の状態は、におい・声かけ等の対応で確認している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分摂取量を把握するとともに、体操や散歩、買い物等の運動をするように働きかけている。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者の希望に沿って入浴して頂けるように声掛けを行っている。	週2回は、入浴して頂けるよう努めている。昼を原則とするが夜の場合もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	運動と休息のメリハリを付けつつ、夜の安眠に繋がれるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者の服用されている薬についての理解に努めると同時に、薬剤師と連携し、適切な服薬の支援を心掛けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの趣味や生活歴に合わせて、役割や過ごし方等を考えるようにしている。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り、希望に沿っての外出を心掛けている。又、家族の協力のもと、こちらでは対応しにくい外出の支援をしている。	季節に応じて外出もしている。コロナウイルス対策期間は、3回に分けて社用車で車中から花見を楽しんだ。灘区出身の方もおられ、王子公園付近まで行った。日常は、近隣のスーパーの買い物時に同行外出をしている。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	能力に応じて、お金を持って頂くとともに、使用して頂くようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	自身の携帯電話をお持ちの方には、家族と話せるように支援している。又、年賀状を家族へ出せるように支援している。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の温度や明るさ等、入居者に確認しながら、対応することで不快にならないように心掛けている。又、テーブルに花を飾り、その季節を感じて頂けるように工夫している。	1ユニットで共用室がやや手狭な感じもするが、屋上に庭園がありパーベキューや甘藷栽培により季節を楽しんでいる。菜園づくりを楽しんでいる利用者もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	狭い空間の中でも、ソファの配置や椅子の配置を考え、居場所づくりを検討している。		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にはこれまで使われていたものを持参 頂けるようお願いし、居室内が居心地よくなる ように気を付けている。	ベット・エアコン・居室トイレ・洗面室があり、ゆったり過ごしている。使い慣れた家具や物品も持ち込み、居心地の良い居室としている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーである。又、その方に応じて、自室のトイレを見えるようにする等の工夫している。		

基本情報

事業所番号	2890500115
法人名	株式会社愛ホームサービス
事業所名	グループホーム愛
所在地	神戸市兵庫区下沢通8-2-20

npo法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ兵庫福祉調査センター	
尼崎市南武庫之荘2丁目27-19	
令和2年6月15日	

【情報提供票より】令和5月28日

(1)組織概要

開設年月日	平成24年1月1日		
ユニット数	1	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤5人	非常勤6人

(2)建物概要

建物構造	鉄骨造り3階建ての2階部分		
	敷地面積	303.78	m ²

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	85,000	円	その他の経費(日額)		円
敷金	150,000円				
保証金の有無 (入居一時金含む)	0円		有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300	円	昼食	500 円
	夕食	500	円	おやつ	円
	または1日当たり円				

(4)利用者の概要(5月28日現在)

利用者人数	8名	男性	1名	女性	7名	
要介護1	3名	要介護2	2名			
要介護3	2名	要介護4	0名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	86.6歳	最低	79歳	最高	95歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	奥地外科医院
---------	--------

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	自治会や近隣地域との関わりがほとんどない	事業所が地域の方々に一員として認識される	・事業所で介護相談会のような催しを開催する ・消防訓練等の地域の催しに参加する	12 ヶ月
2	17	防火避難訓練の夜間想定訓練が出来ていない	夜間の非常時への対応方法について、職員が把握することが出来る	・今年度の防火避難訓練の中で、夜間想定 of 避難訓練を実施する ・実施した上で、各職員の理解度をチェックし、分からない部分について、職員間でどうするのが良いかを検討する	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(様式2(2))

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="checkbox"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="checkbox"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="checkbox"/> ⑤その他()
2 自己評価の実施	<input type="checkbox"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="checkbox"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="checkbox"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="checkbox"/> ⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="checkbox"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="checkbox"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="checkbox"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="checkbox"/> ⑤その他()
5 サービス評価の活用	<input type="checkbox"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="checkbox"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="checkbox"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="checkbox"/> ⑤その他()